

■ポーランド：政府、欧州委員会のウィンター・パッケージに意見表明

2016年12月5日の報道によると、ポーランドのエネルギー大臣トフジェフスキ氏が欧州委員会の発表したウィンター・パッケージ（エネルギー気候変動関連規則の改定案）のうち、容量市場改正案（発電設備のCO₂排出基準：550g/kWh）に対する批判を表明している。また、ポーランド電気協会（PKEE）のMaciej Burny理事は、ウィンター・パッケージを全体的な方向性としては評価しつつも、個々の政策について実状にそぐわないものもあるとしている。そのうち、容量メカニズムについては、安定供給確保には不可欠なものであるとし評価するものの、欧州委員会の定めるCO₂排出基準については、同基準を適用すると現状の2,800万kWの従来型電源を維持できなくなるとの懸念を示している。